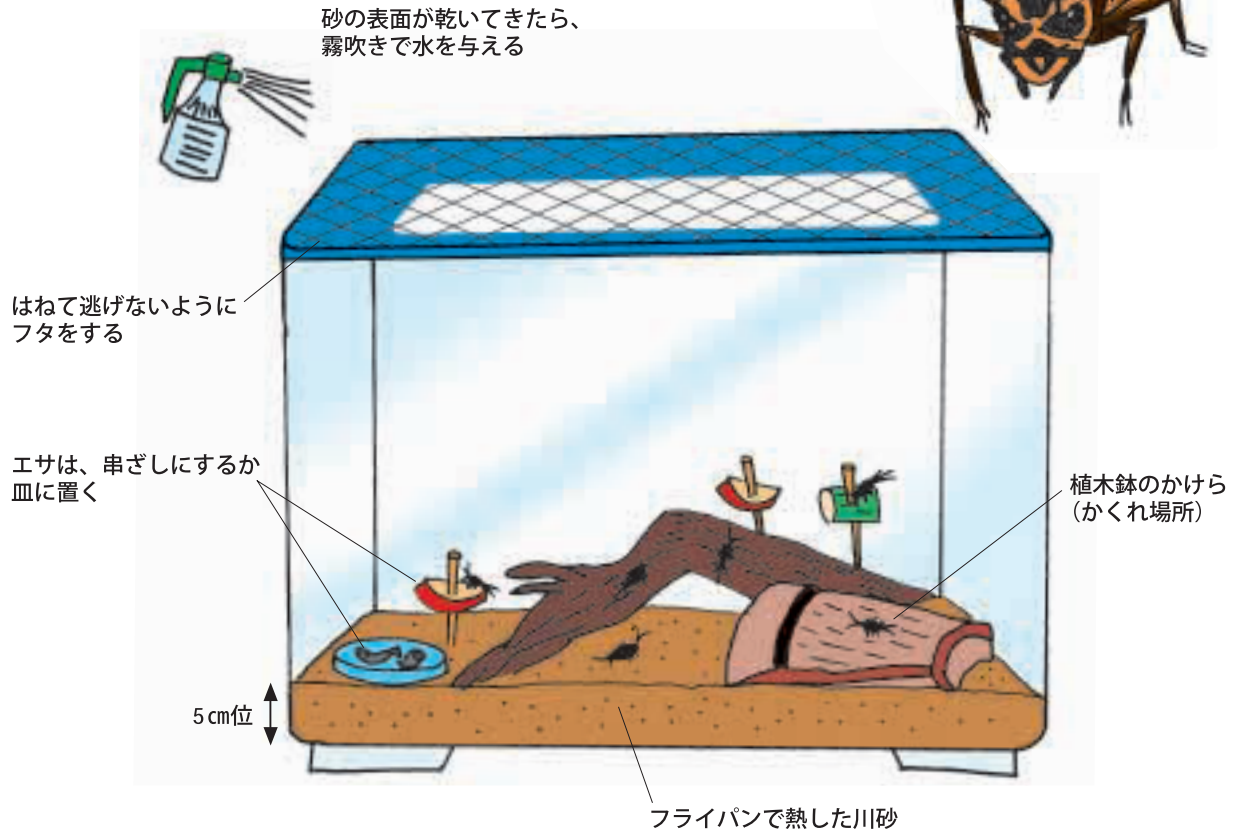


[コオロギの飼いかた]

(エンマコオロギ・ミツカドコオロギなど)

◎成虫・幼虫の飼いかた



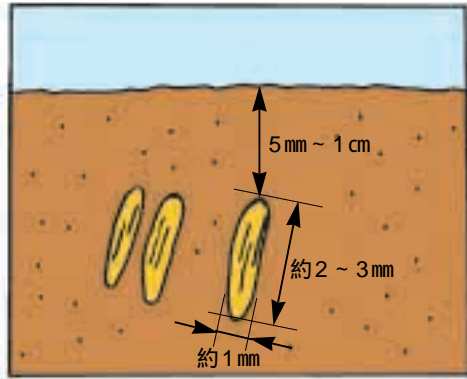
- コオロギは、成虫も幼虫も同じように飼えます。
- エサは、市販のスズムシ用配合飼料、または、リンゴ、キャベツ・キュウリ・煮干し・ケズリブシを与える。
 - ・とも食いを防ぐため、動物性タンパク質は必ず与えること。
 - ・エサは、2～3日に1回は取り替えること。
- 幅が35 cmのプラスチック水そうで、オスとメスを5頭ぐらいずつ入れるのが適当です。
- とも食いを防ぐため、植木鉢・木などを利用して、かくれ場所を多めにつくる。
- 容器には、湿らせた川砂を5 cmくらいの深さに敷くこと。川砂は、殺菌するためにあらかじめフライパンで熱しておくこと。また砂が乾いたら、霧吹きで水をかけること。砂にカビがはえたら、取り除くこと。
- 夜行性なので、飼育容器は薄暗く涼しい場所に置けば、昼間でも鳴き声を楽しむことができます。
- 脱皮した直後は白い色をした柔らかい体なので、触らないようにすること。

卵の管理

1匹のメスは100個以上の卵を産みます。

- ・成虫が死んだら、死がいや食物の残りカスなどすべてを取り除くこと。
- ・川砂の一部を掘り起こして卵があるかどうか見ること。

土中の卵のようす

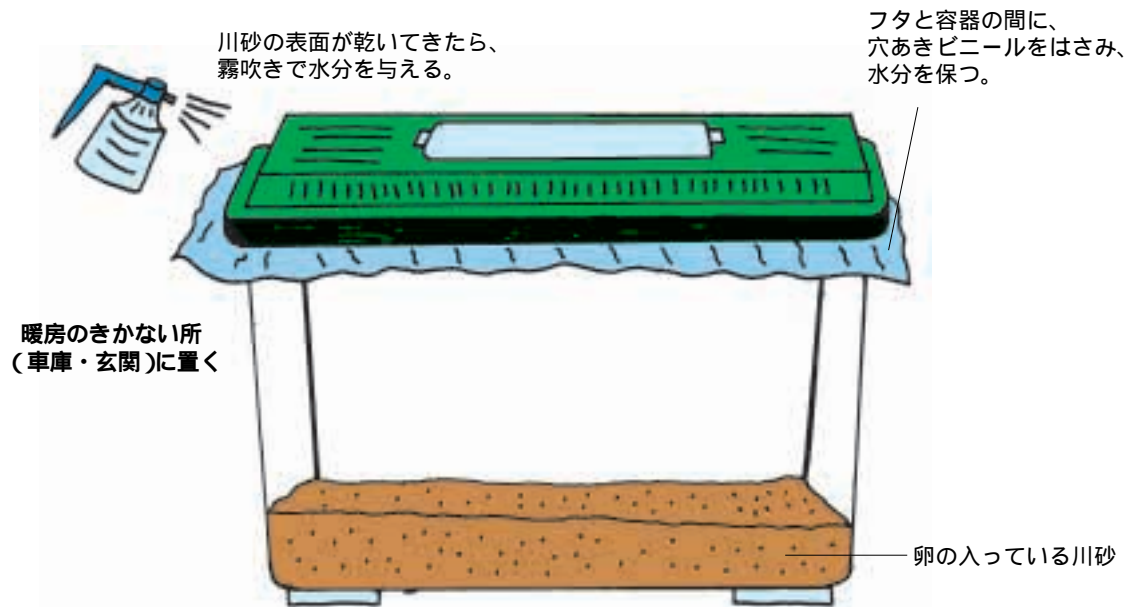


「卵が見つかったら・・・」

エンマコオロギは卵のまま冬を越すので、次のことに注意すること。

- ・土の表面が乾いてきたら、霧吹きで水をかけること。
- ・容器は暖房のきかない所（車庫・玄関など）に置くこと。
- ・5月～6月に幼虫が生まれるので、成虫と同様な方法で飼います。

エンマコオロギの卵の管理



エンマコオロギのオス・メスの見分け方

オス・メスの見分け方は、メスには産卵管があります。前はねの模様がオスとメスで違います。

